

新規採用職員の基礎研修 横田主査が文書事務の講師に

新規採用職員を前に、「文書の取扱い」について講義する横田主査



空知管内の町職員を対象とした基礎研修が、深川市内のネイパル深川で行われ、妹背牛町役場住民課保険グループの横田主彦主査が「文書の取扱い」をテーマに講義を行いました。

研修は空知町村会が主催し、5月12日から14日までの3日間の日程で実施。管内14自治体と2団体から新規採用職員49人が参加し、地方公務員として必要

な役場の仕組みや財務会計などの基礎知識を学びました。

3日目の研修では、横田主査が公文書の役割や文書主義の考え方をはじめ、起案から決裁、文書保存までの流れ、公用文の基本的な書き方について説明しました。

また、行政文書に求められる「正確性」「客観性」「分かりやすさ」の重要性に加え、電子メールの誤送信防止や個人情報管理の適切な管理など、日常業務に欠かせない実務的なポイントについても分かりやすく解説。

さらに、「住民に伝わる文章を書くこと」や「自ら考える姿勢を持つこと」の大切さにも触れ、参加した職員は熱心に耳を傾けていました。

横田主査は「文書事務は行政の信頼を支える基本です。研修で学んだことを、今後の業務に生かしてください」と話していました。

地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

よこたしほ 與古田 史帆 さん

地域おこし協力隊として活動する沖縄県出身の與古田史帆さんが4月から、自作のキッチンカーで営業を始めました。

車両は軽バンをベースに、約3カ月かけて自ら改装したもの。沖縄をコンセプトにした鮮やかなデザインが目を引き、車体のポップやのぼりには南国風のイラストを取り入れるなど、本場の雰囲気を演出しています。

販売しているのは、沖縄の伝統菓子「サーターアンダギー」。沖縄産の小麦粉を使用し、外はカリット、中はふんわりとした食感

が特徴です。プレインのほか、チョコバナナや黒蜜きなこなどのメニューも用意しており、シークワサーサイダーなど沖縄らしい飲み物も販売しています。

與古田さんは「営業を始めてから、サーターアンダギーを知っている方が多かったです。とや、シークワサーが好きという声が多かったことに驚きました」と話します。妹背牛温泉ペルルやわかち愛もせうしひろばでの販売時には、多くの来場者が列をつくり、沖縄の味を楽しんでいました。今後は土日を中心に、町内外のイベントへ出店予定で、「おいしい」と言ってもらいたいですね」と笑顔を見せています。



揚げたてのサーターアンダギーをお客に手渡す與古田さん



南国風の装飾が目を引くキッチンカー